

# 入 選

## 薔薇でつながる素敵な縁

西郷真菜様

## 入 選

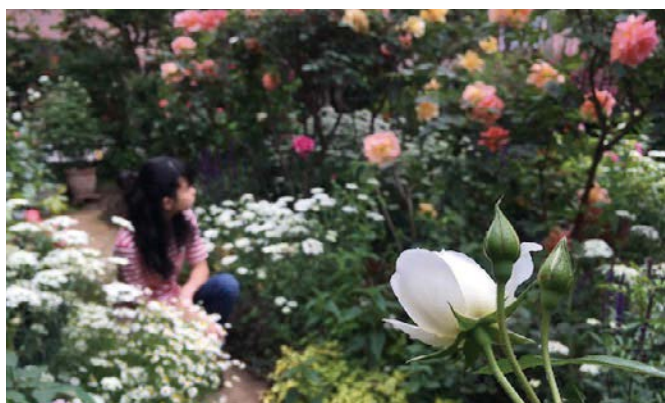
祖母の庭には季節になるとたくさん  
の薔薇が咲き乱れる。満開の時期はあつ  
という間に過ぎてしまいが、色とりどり  
の花が道行く人を楽しませたり、誰か  
の気持ちを明るくさせたりしているだ  
ろうと感じる。

祖母は優しく朗らかだが、口数は少  
なくあまり社交的な性格ではない。家  
の中でレース編みをしたり、プリンを作つ  
たり、庭の手入れをして過ごすことが多  
い。そんなある日、家の前を通りかかっ  
た若い女性に薔薇の品種を尋ねられた  
という話をしてくれた。その女性は幼  
稚園に通う子供の送迎で、毎日祖母の  
家の前を通りかかるのだそうだ。最初  
は庭の中と外とで会話をしていたが、  
自分でも薔薇を育てているという話を  
聞いて庭に招き入れ、お喋りをした後、  
何本か切つて持たせてあげたというこ  
とだった。すると次の日、玄関先にお礼の  
手紙と一緒にその女性が育てている薔薇  
の切り花が置かれていたそうだ。祖母  
の庭には咲いていない、素敵なブラウン  
の薔薇だった。普段一人暮らしをしてい  
る祖母にとって、それはとても嬉しいで  
きごとであっただろう。その話を聞いて、  
私もとても幸せな気持ちになった。

ご近所の方には、いつも花束を作って  
薔薇のお裾分けをしている。花は会話  
が苦手な祖母の大事なコミュニケーション  
ツールの一つなのだと感じる。今では  
すっかり祖母の庭の代名詞となっている  
薔薇も、元々は亡くなった祖父が好きで  
植えたものだ。祖父は多趣味で、アク

タイプで、祖母とは真逆の性格だった。  
当時飼っていた猟犬のために、駐車場の  
上は犬のための広いスペースとなってい  
た。今はそこにガーデンテーブルやチェ  
アを置き、祖母が好きなイングリッシュ  
ローズが溢れている。庭で採れたハーブ  
でハーブティーを淹れたり、イチゴでジャ  
ムを作ったりもする。それは自然が好き  
な私にとっても、ゆつたりできる、癒や  
される時間だ。

庭の手入れは毎日のことだし、消毒  
や植え替え、剪定など体力がいる仕事  
で祖母は年々キツくなってきたと言っ  
ているが、心身の健康維持のためにも続  
けて欲しい。そして少しでも長く祖父と  
祖母の素敵な薔薇の庭を楽しむために  
私も協力していきたいと思っている。



### 講評



理事 白砂 伸夫

あまたある植物の中で、バラは  
特別な存在であることがよくわか  
ります。庭にところ狭ましと植え  
られたイングリッシュローズやつる  
バラが庭をおおい、草花とハーモ  
ニーを奏でる音楽のように一年を  
彩っています。そのバラの響きわ  
たる音楽は通りかかる人をも魅  
了し、見知らぬ人とも無言の会話  
を可能にし、これほど豊かな会話  
はひとえにバラにひそむ美に由来  
するのだと思います。きっと祖母  
様はバラの美を紡ぎだす名手なの  
でしょう。このようにバラに囲ま  
れたガーデンテーブルでいただく  
ハーブティーは格別で、癒やされ  
る時間でもあります。バラの紡ぎ  
出す素敵な空間と時間の作り方  
を祖母様から伝授され、受け継が  
れることを期待します。